



チェンジの痛み

シリーズ～チェンジ～

2016/10/23

使徒言行録15章1～20節

ある人々がユダヤから下って来て、「モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない」と兄弟たちに教えていた。それで、パウロやバルナバとその人たちとの間に、激しい意見の対立と論争が生じた。この件について使徒や長老たちと協議するために、パウロとバルナバ、そのほか数名の者がエルサレムへ上ることに決まった。さて、一行は教会の人々から送り出されて、フェニキアとサマリア地方を通り、道すがら、兄弟たちに異邦人が改宗した次第を詳しく伝え、皆を大いに喜ばせた。

エルサレムに到着すると、彼らは教会の人々、使徒たち、長老たちに歓迎され、神が自分たちと共にいて行われたことを、ことごとく報告した。ところが、ファリサイ派から信者になった人が数名立って、「異邦人にも割礼を受けさせて、モーセの律法を守るように命じるべきだ」と言った。そこで、使徒たちと長老たちは、この問題について協議するために集まった。

議論を重ねた後、ペトロが立って彼らに言った。「兄弟たち、ご存じのとおり、ずっと以前に、神はあなたがたの間でわたしをお選びになりました。それは、異邦人が、わたしの口から福音の言葉を聞いて信じるようになるためです。人の心をお見通しになる神は、わたしたちに与えてくださったように異邦人にも聖霊を与えて、彼らをも受け入れられたことを証明なさったのです。また、彼らの心を信仰によって清め、わたしたちと彼らとの間に何の差別をもなさいませんでした。それなのに、なぜ今あなたがたは、先祖もわたしたちも負いきれなかった轡(くびき)を、あの弟子たちの首に懸けて、神を試みようとするのですか。わたしたちは、主イエスの恵みによって救われると信じているのですが、これは、彼ら異邦人も同じことです。」すると全会衆は静かになり、バルナバとパウロが、自分たちを通して神が異邦人の間で行われた、あらゆるしるしと不思議な業について話すのを聞いていた。二人が話を終わると、ヤコブが答えた。

「兄弟たち、聞いてください。神が初めに心を配られ、異邦人の中から御自分の名を信じる民を選び出そうとなさった次第については、シメオンが話してくれました。預言者たちの言ったことも、これと一致しています。次のように書いてあるとおりです。『「その後、わたしは戻って来て、倒れたダビデの幕屋を建て直す。その破壊された所を建て直して、元どおりにする。それは、人々のうちの残った者や、わたしの名で呼ばれる異邦人が皆、主を求めるようになるためだ。」昔から知らされていたことを行う主は、こう言われる。』それで、わたしはこう判断します。神に立ち帰る異邦人を悩ませてはなりません。ただ、偶像に供えて汚れた肉と、みだらな行いと、絞め殺した動物の肉と、血とを避けるようにと、手紙を書くべきです。モーセの律法は、昔からどの町にも告げ知らせる人がいて、安息日ごとに会堂で読まれているからです。」

成長し拡大した教会

■教会の誕生

- 復活したイエス・キリストが天に帰られた後、ペンテコステの日に聖霊が降り、弟子たちは証人となった
- 「その日に三千人ほどが仲間に加わった」(2:41)

■迫害による拡大

- ステファノの殉教後、「使徒たちのほかは皆、ユダヤとサマリアの地方に散って行った」(8:1)

■アンティオキア教会から始まった異邦人伝道

- 「しかし、…アンティオキアへ行き、ギリシア語を話す人々にも語りかけ、主イエスについて福音を告げ知らせた。(11:20) >パウロらの宣教旅行開始

教会最初の会議

- 異邦人が大勢いたアンティオキア教会にもたらされた騒動
 - 異邦人クリスチャンも律法を守らなければならない
 - 「パウロやバルナバとその人たちとの間に、激しい意見の対立と論争が生じた」
- 「使徒や長老たちと協議する」ことになった
 - 「パウロとバルナバ、そのほか数名の者がエルサレムへ上ることに決まった」
- ファリサイ派クリスチャンたちの主張
 - 「異邦人にも割礼を受けさせて、モーセの律法を守るように命じるべきだ」と言った

律法派の気持ち

- そもそも福音はユダヤ人のためにあるはずだ
 - ユダヤ人は主なる神に選ばれた民である
 - 父祖アブラハム以来、長い苦難の歴史を歩んできた
 - 主イエス・キリストはユダヤ人
- 律法を守ってこそ神の民ではないのか
 - 主なる神とその民(ユダヤ人)を結びつけたのは律法である
 - キリストの十字架の贖いによって罪赦されても、律法を守らない生活をしたら罪に逆戻りではないか
- 律法を守らなくて良いなら自分たちの立場は
 - 異邦人クリスチャンは楽すぎる!

ペトロの証言

■開かれた会議

- 「そこで、使徒たちと長老たちは、この問題について協議するために集まった。」

■ペトロの主張：異邦人も同じように救われた

- 「異邦人にも聖霊を与えて、彼らをも受け入れられたことを証明なさったのです」：コルネリウス家の出来事

■彼らは信仰によって罪赦された

- 「彼らの心を信仰によって清め、わたしたちと彼らとの間に何の差別をもなさいませんでした」

■律法を守ることはできなかつたじゃないか！

- 「なぜ今あなたがたは、先祖もわたしたちも負いきれなかつた軛(くびき)を、あの弟子たちの首に懸けて、神を試みようとするのですか」

会議の決定／キリストの弟ヤコブ

■旧約聖書の引用

- 「その後、わたしは戻って来て、倒れたダビデの幕屋を建て直す。その破壊された所を建て直して、元どおりにする。それは、人々のうちの残った者や、わたしの名で呼ばれる異邦人が皆、主を求めるようになるためだ。」>アモス書9:11-12

■結論

- 「神に立ち帰る異邦人を悩ませてはなりません。ただ、偶像に供えて汚れた肉と、みだらな行いと、絞め殺した動物の肉と、血とを避けるように」
- 異邦人クリスチャンは律法を守らなくて良いが…

チェンジの痛み

- 成長にはチェンジが伴う
 - 何も変わらないとしたらチェンジが必要かも
- 「～でなければならぬ」と思い込むことの問題
 - 意見の違う人を排除したり裁くことになる
 - 神様の御業を制限することになる
- チェンジのために必要なこと
 - 聖霊の自由な働き
 - 違う意見を聞く
 - よく話し合う
 - 聖書の御言葉を正しく用いる